



第 21 号

編集・発行：城山地区社会福祉協議会（城山地区社協） 会長：伊藤紋三郎（55-1626） 発行日：令和8年3月1日

城山地区概要：9区と16自治会 人口 4,850人 1,934世帯（令和8年2月1日現在）

城山生活サポート事業の年度活動報告

（令和7年4月1日から令和8年1月31日）

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方の、「少し困ったこと」をお手伝いする生活支援活動です。生活サポーターがお手伝いした支援活動を紹介します。

令和7年度活動内容の内訳

①ゴミ出し	110件
（可燃94件・不燃3件・ビニプラ7件・カン2件・粗大4件）	
②買い物支援	13件
③除草剤散布	3件
④庭木の剪定	2件
⑤日よけシート取り付け	1件
⑥草取り	1件
⑦草刈り	1件
⑧ベッド組み立て	1件
⑨カーテン取り付け	1件
⑩家具の移動	1件
合計	134件 137人



— 過年度活動状況 —

令和元年10月1日から令和2年3月31日	12件	22人
令和2年4月1日から令和3年3月31日	41件	58人
令和3年4月1日から令和4年3月31日	78件	84人
令和4年4月1日から令和5年3月31日	111件	114人
令和5年4月1日から令和6年3月31日	168件	171人
令和6年4月1日から令和7年3月31日	203件	208人

サポート内容

ゴミ出し、買い物支援など、1時間以内のできる活動です。送迎サービスや危険な作業は、お受けできません。

利用料金

15分で200円（材料費は別途）で行っています。



利用申し込み

専用電話

(090-1783-3810)

近所の民生児童委員さんや福祉推進委員さんにお声がけください。



わくわくチャレンジ親子史跡巡り

令和7年9月20日(土)

青少年委員会

委員長 伊藤 敏彦

私たちの地域では今、生活をより豊かにする為の東海環状自動車道の建設が進められています。そこで今回は、岐阜県境から三重県に抜ける養老トンネルの掘削工事現場見学を計画しました。養老山地は、他の山々に比べて保水性の高い土壌故に、当初の予定を大幅に超える期間が費やされている難工事になっているそうです。原因は、1時間に25mプール2杯分の水が湧き出ているとのことで、正に水との闘いだそうです。普段は見かけることの無い10tダンプの2倍超えの重ダンプやタイヤ全体に鎖を巻き付けたサイドダンプ、トンネルの天井や壁面に生コンを吹き付ける機械の見学、そしてトロッコの乗車体験等々、圧巻でした。参加の皆さんは、驚きの連続でした。常に新鮮な空気を掘削現場に送り続けたり、Wi-Fi環境を整えて連絡を密に取り合えるようにしたりする等、作業に携わる方々の安全を最優先する工事現場でした。多くの方の英知と人や環境への最大限の配慮をして造られている道路やトンネル等です。それを利用する際には、目には見えない配慮にも感謝したいと強く思いました。その後は、津屋のハリヨ池の見学と、薩摩義士役館跡を見学して270年前の薩摩義士と郷里の薩摩藩のご苦労にも思いを馳せました。



ほうおんかんしゃ

青少年の健全育成を目的とし、報恩感謝の心と郷土を愛する心を育めればと計画しました「親子史跡巡り」には、9家族26名の小学生と保護者の参加があり、役員等と合わせ33名で遂行することができました。

最後に、青少年の健全育成にご理解とご協力頂きましたNEXCO 中日本、(株)奥村組、海津市役所建設都市計画課の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



参加者の感想



行き先

- ①養老トンネル掘削現場の見学
(庭田)
- ②ハリヨ池の見学(津屋)
- ③薩摩義士役館跡の見学
(養老町大巻)

城山小2年T. M

今日一番楽しかったのは、トロッコに乗って養老トンネルの工事を見たことです。トンネルの中は寒くて水がたくさんしみだしてびっくりしました。作業をする人たちは、水にぬれながら毎日工事をしていて、すごいなぁと思いました。トンネルの完成が待ちどおしいです。他にもハリヨ池とさつま義士やっかんあとの見学をしました。とても楽しかったので、また参加したいと思います。

城山小2年I. K

東海かんじょう自動車道の養老トンネルほり現場の見学が一番ワクワクして楽しかったです。事故した時やひなんする時に使う小さなトンネルがあることを初めて知ることができました。そのトンネルの中で乗ったトロッコがとてもドキドキして、トンネルの中が寒かったのが印象に残りました。

現在工事中の養老トンネル北工事現場見学会に参加して、見る物すべてが初めてでスケールの大きさには大変おどろかされました。奥村組さんという会社が一生けん命にトンネルを作っていて、ぼくたちの様な見学者にもていねいに説明をしてくれて感しゃしかありません。トンネル工事は現在大量のわき水により非常に苦せん中で日々きけんとなり合わせとおっしゃって見えました。完成して車で通る時は、工事でがんばってくださった方に感しゃしながら通りたいです。

親子史跡巡りは、3年生の時にも参加させて頂き、今回で2回目です。今年はなかなか見ることができないトンネル工事を見学させて頂きました。1回の爆破で1m、1日平均3mくらいしか進めないことや工事に使っている工具やトラックの説明をして頂き、新たな発見につながったので参加できて良かったです。

家族で初めて参加させて頂きました。一番の目的はトンネル見学でした。途中見たこともない重機に声をそろえて「大きいね」。大人の身長程もある大きなタイヤに巻かれた鎖のカバーの理由①「滑らないようにする」は想像できましたが、②「石でパンクしないように守る」にはこんな厚いタイヤも尖った石でパンクするんだなあ、なるほどーと。トンネルの奥はとてもヒンヤリしていました。本坑より先を進む避難坑の先端は大量の水が出ていて、壁にある左右何本ものホースが全て排水用と聞きビックリしました。この排水もそうですが、トンネル奥でもきれいな空気が送られている等と、トンネルを掘る作業をする為の工夫も同時になされていることを教わりました。一日に3mしか進めないことに驚きましたが、色々な技術と工夫で安全に進められていることを知り納得でした。一生に一度見学できるかどうかの貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました！ハリヨと薩摩義士役館跡の見学も、市民でありながら巡る機会がなかなかなかったので、訪れることができて良かったです。親子共にとても勉強になった一日でした。ありがとうございました。



城山ひとり暮らし高齢者のつどい

令和7年10月17日(金) ゆとりの森 大会議室

福祉委員会

委員長 黒田 昇

福祉委員会は地域助け合い事業の一環として、孤立しがちなひとり暮らし高齢者との交流会を実施しております。

城山地区には、70歳以上のひとり暮らし高齢者の対象者が128名みえます。福祉委員会で見守りを兼ね招待状をお届けしてお誘いしました。

ひとり暮らし高齢者の37名の方々と日赤奉仕団3名、福祉委員など16名で、お招きし、ほんのひと時ですが、楽しんでいただきました。

こまの認定こども園の園児18名によるふれあい遊びでは、「よさこい踊り」に見入り、「お手玉遊び」「じゃんけん遊び」では園児と共に楽しまれ、園児による肩たたきでは皆さん満面の笑顔でした。



会食と歓談は、お弁当をいただき、会話もはずみ、和やかな時間を過ごされました。



最後に、ドリームベル5名による10曲の生演奏や福祉委員会の役員による歌と演技に感激し拍手の渦に包まれました。

参加された皆さんとスタッフが一体となり、熱気冷めやまめ状態で終わりました。



小学校 4 年児童による避難所開設体験学習

令和 7 年 10 月 24 日(金) 城小体育館

安全委員会

委員長 篠田 重雄

避難所開設体験学習を防災士・応急危険度判定士の有資格者である
海津市役所 防災危機管理室 澤田悠斗氏の指導のもと、城山小学校
4 年生43人、保護者 5 人と安全委員会及び各委員会参加者23人が、大
規模災害や地震発生時に避難者を受け入れる
避難所の開設を城山小学校体育館にて実施
しました。

避難所に行くのはどんなとき？

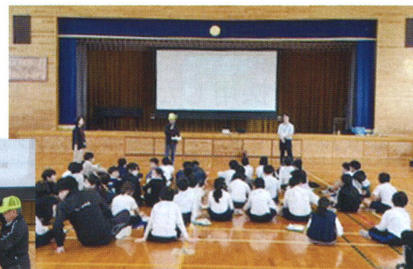
- ①自分の家で過ごすのが不安なとき
- ②自分の住んでいる地域に避難指示が出たとき
- ③自分の家で暮らすことができないとき

城山校区からの近い避難所

- ①城山小学校 ②城南中学校 ③ゆとりの森（福祉避難所）

実技指導

ブルーシートを延ばす（縦10m×横10m）4つの角を持って引っ張る。
（ブルーシートは、体育館内を土足で使用可能とするために敷くものです。）
パーテーション・ダンボールベッドの取扱いを 8 班に分けて実技指導
を実施しました。



児童の感想



- パーテーションを組み立ててみて、思っていたより簡単で、こども人4人くらいでも組み立てることができたので、やってみて良かったと思いました。中に入ってみると広がったので、家族で安心して過ごせると感じました。もし、災害が起きて、避難所が開設されたら、自分も覚えたことを活かして協力したいです。
- パーテーションや段ボールベッドを組み立ててみて、ちょっと難しいところもあるけれど、協力すれば、自分たちでもできると思いました。ベッドは何人が乗っても壊れなくてすごいです。ベッドがあれば、赤ちゃんやお年寄りも安心だと思いました。
- 海津市では、パーテーションやベッドを備えているけれど、まだ数は少ないと聞きました。自分たちでもそなえておけるものは備えることが大事だと思いました。災害がきたらと考えるとこわいけれど、家族や地域の方と一緒に、ぼくたちもできることはやって乗り越えないといけないと思いました。

担任の先生からのコメント

※ほとんどの児童が【自分でもできることがある・がんばろう】という気持ちをもつことができました。



澤田講師からのコメント

※今日体験学習したことについて、家に帰ったら家族で話し合いをお願いします。



第9回

いきいき城山スポレク大会

令和7年11月15日(土) 南濃体育館

体育委員会

委員長 服部 忠久

幼児からお年寄りまで、延べ120人ほどの参加者が「スポーツ吹き矢」、「ピンポンラリー」、「スカットボール」、「バスケフリースロー」、「スピードガン」、「カローリング」の6種目にチャレンジしました。どの種目も小さなお子さんからお年寄りまで、無理なく楽しめる種目ばかりです。

初めて採用したスカットボールでは、思うようにボールを打てず、また入ったと思ったボールが的確穴をくると回って飛び出てしまいがっかり！なかなか得点が伸びませんでした。

全種目をチャレンジして、湖池屋さんのポテチなどの参加賞をもらい、楽しい時間を過ごしてもらいました。



スカットボール
5点穴を狙って「入れ！」



ピンポンラリー
10球返球達成
「パーフェクト！」

